

CASE 02

# 聖籠町における人口に関する分析

はじめに

分析結果

- 1 聖籠町の人口推移
- 2 人口増減の推移(人口動態)
- 3 人口の社会増減の推移
- 4 聖籠町における定住支援策の取組状況

まとめ

コメント

## 聖籠町における人口に関する分析

### はじめに

聖籠町は、隣接する新潟市や新発田市などのベッドタウンであり、依然として人口が増加している県内でも数少ない町である。

本分析では、RESASを活用して、同町の人口の現状を確認するとともに、今後の課題を整理した。

### 分析結果

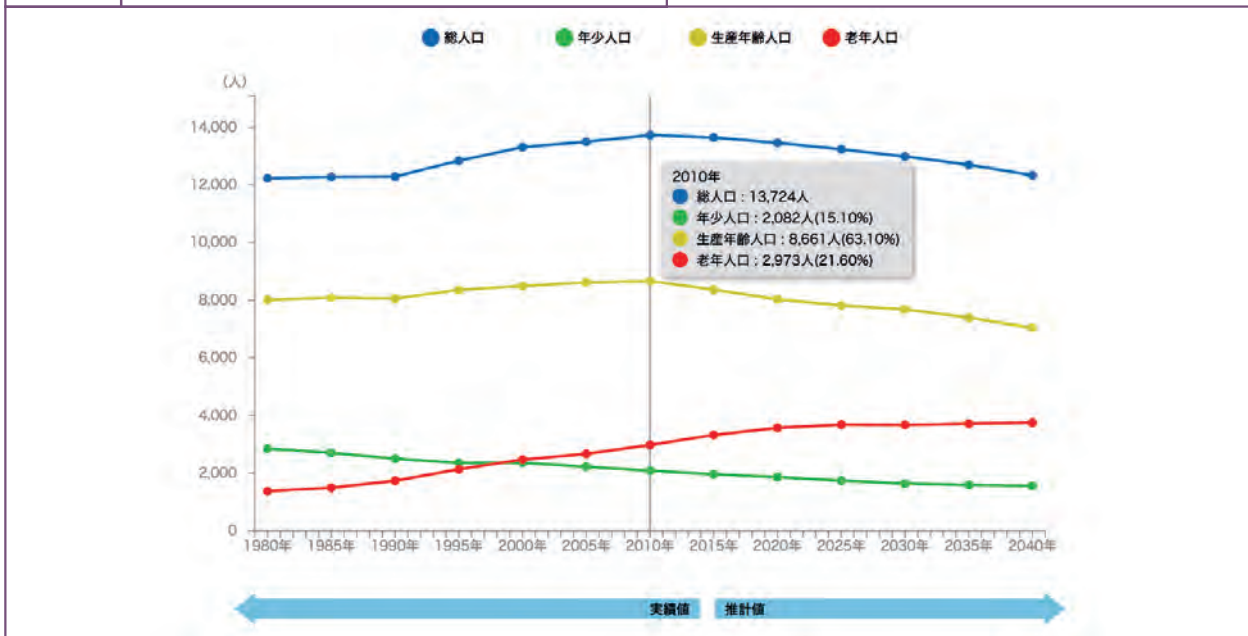
#### 1 聖籠町の人口推移

RESASの人口マップ「人口構成－人口推移」を使って、聖籠町の人口の推移をみると、1980年以降、聖籠町の人口は増加傾向にあり、2010年には13,724人となっている。続く15年は、RESASの人口推移のグラフでは13,643人（「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値）と推計されていたが、16年に公表された15年の「国勢調査」によると、14,040人と10年から15年にかけて300人あまり増加している（図表1）。

また、10年の聖籠町の総人口に占める年少人口（2,082人）および生産年齢人口（8,661人）、老年人口（2,973人）の比率をそれぞれみると、年少人口が15.1%、生産年齢人口が63.1%、老年人口が21.6%となっている。

これを、新潟県全体の状況と比較すると、年少人口、生産年齢人口とも新潟県（年少人口：12.7%、生産年齢人口：60.6%）に比べて2.5～2.6ポイント程度高く、老年人口は新潟県（26.1%）に比べて4.5ポイント程度低くなっている（図表2）。

図表1 人口マップ「人口構成－人口推移」新潟県聖籠町

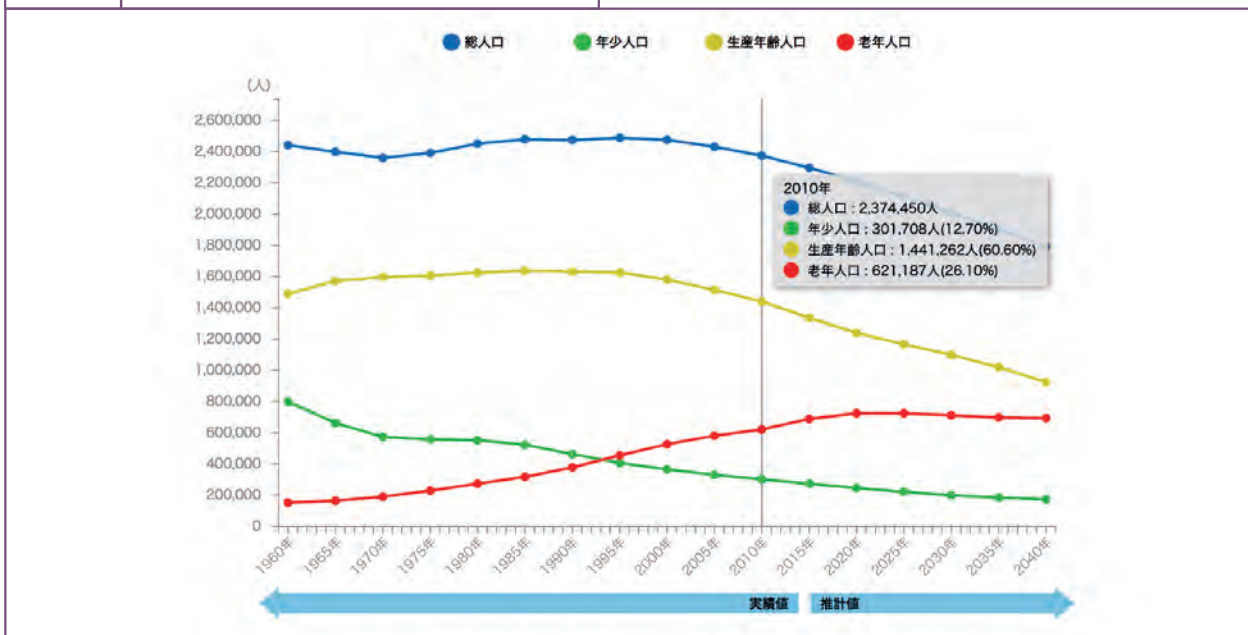


(資料) RESAS

**[RESASの操作手順]**

RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口構成→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【聖籠町】→人口推移

図表2 人口マップ「人口構成－人口推移」新潟県



(資料) RESAS

**[RESASの操作手順]**

RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口構成→表示レベルを指定する【都道府県単位で表示する】→【新潟県】→人口推移

## 聖籠町における人口に関する分析

### 2 人口増減の推移（人口動態）

次に、RESASの人口マップ「人口構成－人口ピラミッド」を使って、聖籠町における人口構成を年齢階級別にみると、10年には「55～59歳」および「60～64歳」の層と、「35～39歳」および「40～44歳」の層、さらには「15～19歳」の層の構成比が他の年代層に比べて高くなっている（図表3）。

これを新潟県全体の構成比と比較すると、聖籠町では「15～19歳」をはじめとした若年層の構成比が特に高くなっている（図表4）。

一方、30年後の聖籠町の40年時点での推計値をみると、女性を中心に「65～69歳」の層と、男性を中心に「40～44歳」および「45～49歳」の層の構成比が他の年代層に比べて高くなっている。

これを新潟県全体の構成比と比較すると、生産年齢人口と年少人口の構成比が高くなっている。その結果、人口ピラミッドの形状をみると、40年の聖籠町のピラミッドの形状は10年の新潟県全体の形状にやや似ていることが分

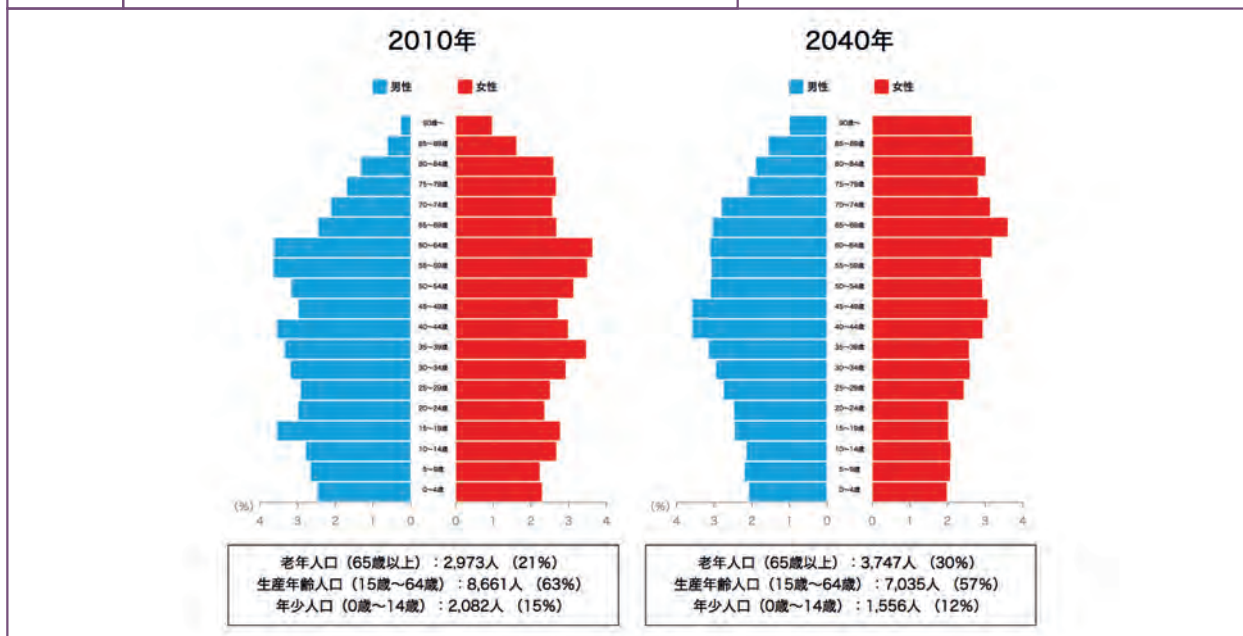
かる。

また、聖籠町における人口増減を自然増減（出生と死亡による人口の増減）と社会増減（移住・引越に伴う転出と転入による人口の増減）の別でみると、06年までは、概ね自然増減と社会増減ともにプラスを維持していた。しかし、07年以降は、自然増減と社会増減のいずれかがマイナスになる年がみられるようになってきている。ただし、自然増減と社会増減を相互補完し合うことで、これまで総人口の増加を維持してきたことが分かる（図表5）。

一方、新潟県全体の状況を見ると、99年から自然増減・社会増減とも減少傾向にあり、特に近年は、自然減の拡大が総人口の減少に拍車をかけている（図表6）。

以上から、聖籠町と新潟県全体の人口推移を自然増減と社会増減の別でみると、聖籠町では自然増減と社会増減を相互補完し合うことで、総人口の増加を維持してきた一方で、新潟県全体では自然増減・社会増減とも減少することで総人口の減少が続いている。

図表3 人口マップ「人口構成－人口ピラミッド」新潟県聖籠町

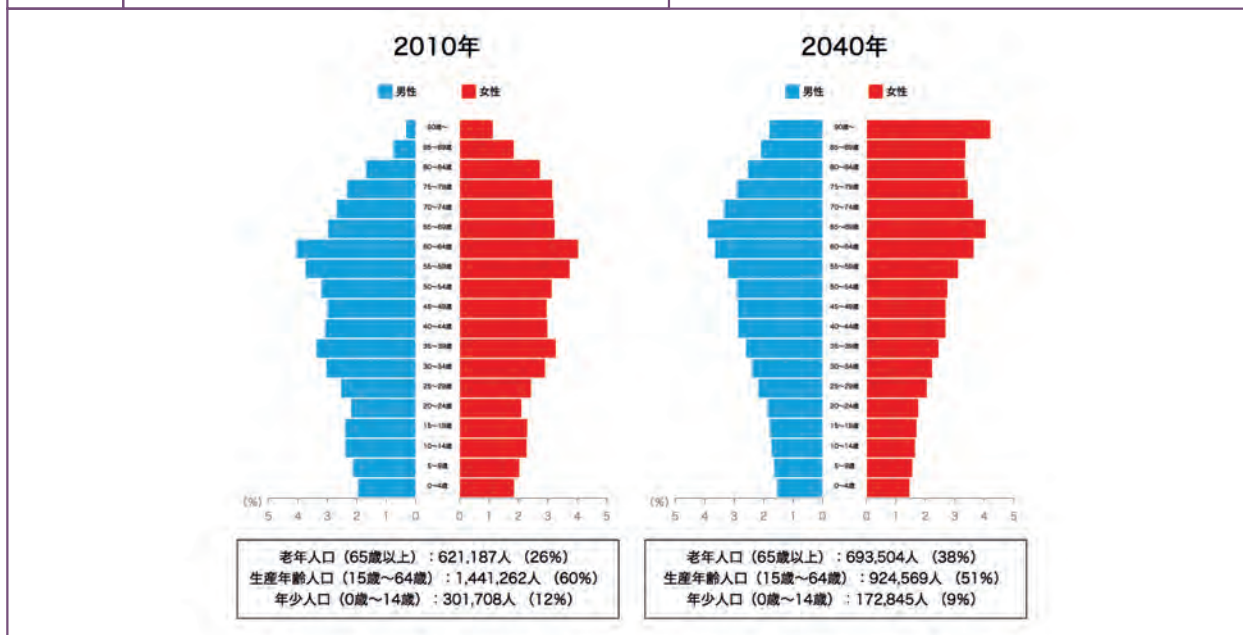


(資料) RESAS

**[RESASの操作手順]**

RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口構成→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【聖籠町】→人口ピラミッド→表示年を変更する【左側】【2010年】【右側】【2040年】

図表4 人口マップ「人口構成－人口ピラミッド」新潟県



(資料) RESAS

**[RESASの操作手順]**

RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口構成→表示レベルを指定する【都道府県単位で表示する】→【新潟県】→人口ピラミッド→表示年を変更する【左側】【2010年】【右側】【2040年】

聖籠町における人口に関する分析

図表5 人口マップ「人口増減-自然増減・社会増減の推移（折れ線）」新潟県聖籠町

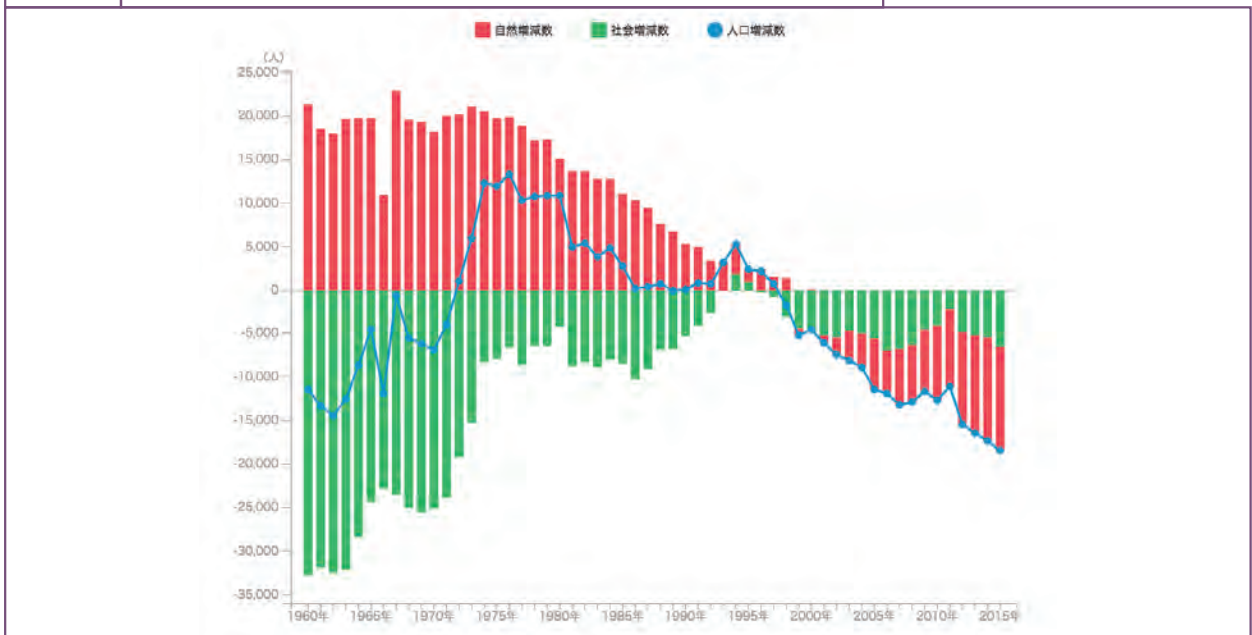


(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口増減→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【聖籠町】→グラフを表示

図表6 人口マップ「人口増減-自然増減・社会増減の推移（折れ線）」新潟県



(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口増減→表示レベルを指定する【都道府県単位で表示する】→【新潟県】→グラフを表示

### 3 人口の社会増減の推移

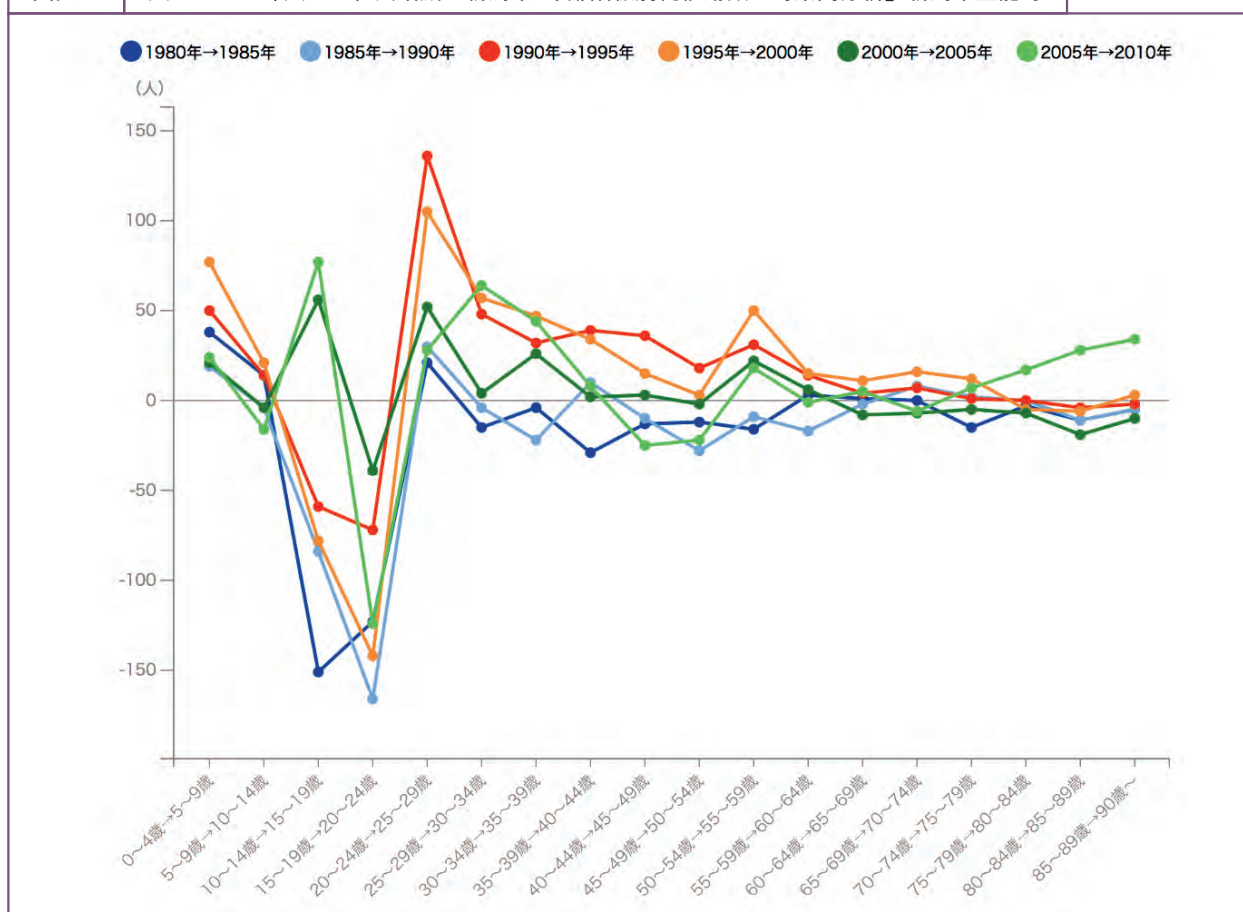
最後に、RESASの人口マップ「人口の社会増減」を使って、聖籠町における人口の社会増減をみると、年によってばらつきはあるものの、「15～19歳→20～24歳」の進学・就職期の年代層の流出が常態化している（図表7）。

また、90年代以降は、30～40歳代の子育て期の世代の流入傾向が続いている。結果、15歳未満の年少人口も増加基調が続いている。

### 4 聖籠町における定住支援策の取組状況

聖籠町では、子育て世代の定住を促進するために、「健やか子育て誕生祝金」（第1子からの子育て誕生祝金）の支給や、町立こども園（幼稚園）の通常保育料の無料化など、子どもを対象とした支援制度を充実させている。これらの支援策が、子育て世代に受け入れられ、これまでの同町の人口増加につながっている面もあるとみられる。

図表7 人口マップ「人口の社会増減—新潟県 年齢階級別純移動数の時系列分析」新潟県聖籠町



(資料) RESAS

**[RESASの操作手順]**  
RESASトップ→メインメニュー→人口マップ→人口の社会増減→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【聖籠町】→人口移動（グラフ分析）

## 聖籠町における人口に関する分析

### ま と め

聖籠町は、新潟東港工業地帯を中心に工業立地が進んでいることに加えて、新潟県内の他の市町村に先駆けて、子育て世代の定住促進に向けた支援制度を充実させることで、同町の人口増加につなげてきている。

しかし、同町作成の「聖籠町 人口ビジョン まち・ひ

と・しごと創生総合戦略」によると、今後は、同町においても人口減少に転じる見通しとなっており、引き続き若者の町外流出の抑制と出生率の向上を同時に進めていくことが重要と考えられる。

#### 《聖籠町 総務課長 近藤 隆義 氏のコメント》

聖籠町では、子育て世代への支援策を重点的に行うことで、子育て世代の定住促進に努めてきました。結果として、今回の分析にもあるように、30～40歳代の世代の流入超過の状況が続いています。しかし、進学・就職期にある20歳代前半の世代の流出超過が定着しています。また、町民の皆さまを対象に実施したアンケート調査の結果をみると、16～18歳の方々が希

望する子どもの数は、19～39歳の方々が希望する子どもの数より少なく、将来的に出生率が低下していく可能性が伺えるものとなっています。以上から、若者のUIJターンの促進に向けた取り組みを強化していくとともに、子育て支援を中心に、町民の皆さまが住み続けたいと思えるまちづくりを一層進めていきたいと思っています。